やる気発生装置

教室通信 Vol.２５６８
Ｒ６．３．１８
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

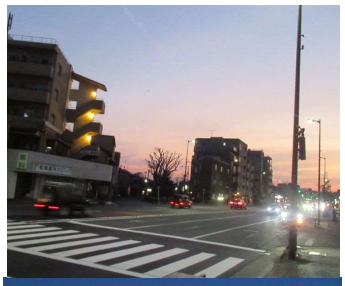
新年度の始まり・助走期間の大切さ

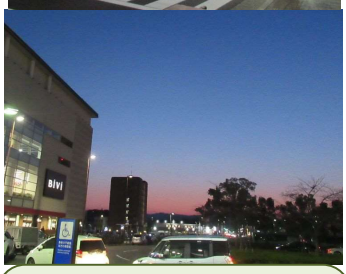
塾のほうは５日間、当「やる気発生装置」については１週間のお休みをいただいて、ともに本日から再開となります。再開というよりも本日をもって当塾の新年度始まりということにしております。塾内での書類やパソコン内のデータなど、すべて新学年に切り替えています。学校ではまだ中２の人は本日から中３となり、先週卒業式を迎えた中３生は高１となります。こう言ってる僕が例年よく間違えるのですが、とにかくも新学年に切り替わりますので、塾に来るときは気持ちを新たに、自分の学年を間違えないようにお願いいたします。

この時期「新年度準備」ということで休ませてもらうのはここ１０年くらいの恒例になっているんですが、実際には３月まで積み残した仕事の片付けであったり、ついダラダラと過ごしてしまったり、だいぶかっこ悪い時間の使い方をしていました。まあそれでも、新学期に向けての授業計画を練ることや、「やる気発生装置」の下書きを少し書いておくことも含めて、ある程度の新年度準備らしきことはできたかなと感じております。

学校で新学年が始まるのは４月。その前段階である春休みの時点で、なぜ一足早く新学年を始めるのか。僕は、その最大の理由を「失敗するための時間の確保」だと考えています。みんな、大なり小なり、新学年からは気持ちを新たにしっかりやろうという気持ちでいるはず。ところが、計画を立てても大抵は数日でうまくいかなかったりするんです。４月、いきなりスタートダッシュに失敗して凹むよりも、３日坊主を２，３回繰り返してもいい、それでも立て直して４月を迎えられるという状態を作るんです。プロ野球だって、いきなり開幕するんではなくて、キャンプやオープン戦があって少しずつ本番モードになっていきますよね。大きな成功を勝ち取るためには、そういう助走の期間がぜひとも必要だということです。野球で言えばそのオープン戦がうまくいかず９連敗で始まったチームなんてのもあるようですが、そういう失敗をするために助走期間があるのだともいえます。

失敗していい期間とはいっても、それはやはり本気でやってこそです。３月のうちに作る土台は何より大きな意味を持ちます。完璧にとはいかなくても気を引き締めて、学校の４月始まりの前からしなやかに走り出してください。そんな君達のスタートを当塾心から応援しています。





夕暮れ時の京都、美しいですね。仕事柄、ふだんそういう時間帯に外をウロウロすることがないので、いっそう新鮮さを感じます。新たな季節を、希望をもって迎えたいですね。

当面の教室予定

3/18(月)
《この日より新年度です》
１６：００～２２：００

3/19(火)
１６：００～２２：００

3/20(水・祝)
お休みです m(_ _)m

3/21(木)～3/22(金)
１６：００～２２：００

3/23(土)
１６：００～２１：００

※21 時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。
※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。